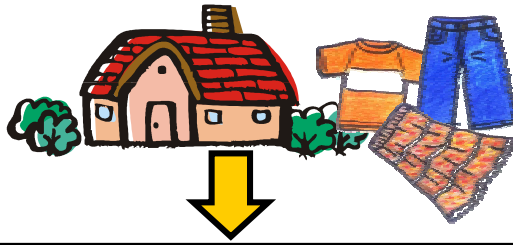


古着の行方①



古着回収の様子

家庭から持ち寄られた古着は、トラックに積み入れ、古着工場に運ばれます。

わあ、みんなが持ち寄ると、こんなにたくさん集まるんだねえ。



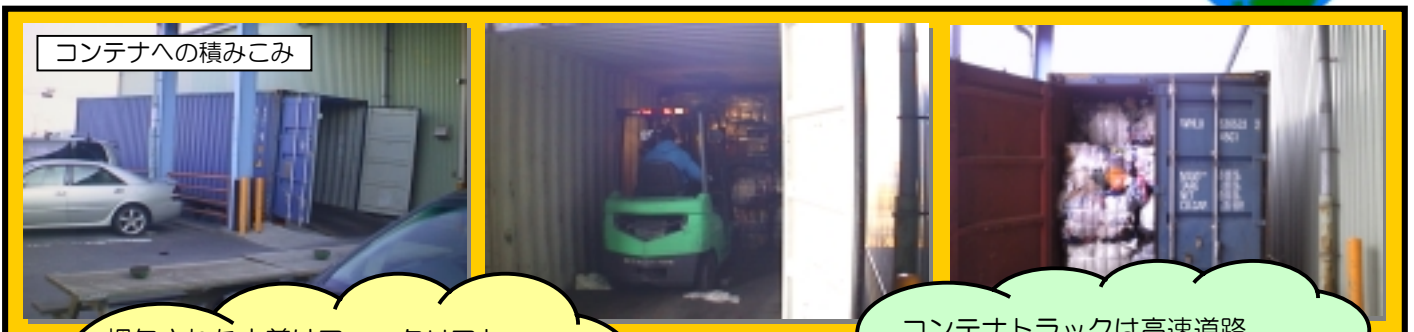
古着の山

工場に運ばれた古着は、一度古着の山に集められます。それから機械で200kgのかたまりに圧縮梱包します。

圧縮梱包された古着

圧縮梱包機

ものすごい量の古着だね。200kgだと、子供5人分くらいの重さかなあ。とてもじゃないけど、人の手じゃ運べないね。



コンテナへの積みこみ

梱包された古着はフォークリフトでコンテナに積み込みます。一つのコンテナに200kgのかたまりが約110個くらい入ります。古着でいっぱいになったコンテナは、大型トラックで工場からコンテナ船が待つ港に向かいます。

コンテナトラックは高速道路とかで見たことあるよ。でも古着がコンテナで運ばれているなんて知らなかったなあ。



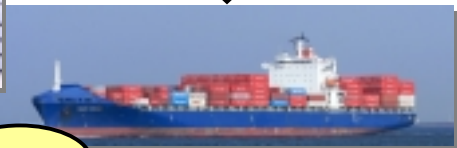
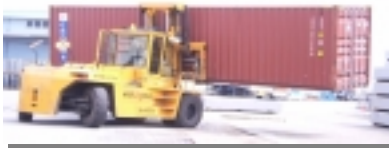
港に向かうコンテナトラック



古着の行方②



コンテナに積み込まれた古着は、港からコンテナ船に載せられ、海外に輸出されます。



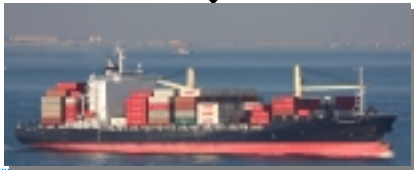
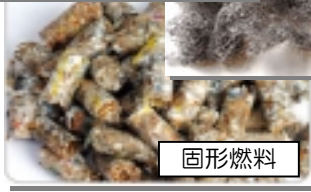
海外に到着した古着は、現地の人達によって様々な種類に分けられます。衣類として使用出来ないものは、ウエス（工業用雑巾）や反毛材の原料・燃料等になります。



なるほど！それぞれの国の気候や文化・風習に合わせて、分けられているんだ。衣類として使えない物も、ちゃんとリサイクルしてるんだね。



仕分けられた古着は、需要に応じて各国に輸出し販売されます。一部は現地でも販売されます。



日本から輸出された古着は、世界中を旅しているんだね。なんだかうらやましいなあ…。

